



平成19年5月14日

各位

会社名 株式会社中京医薬品
代表者名 代表取締役社長 山田 正行
(JASDAQ・コード4558)
問合せ先
常務取締役管理統括本部長 辻村 誠
電話番号 0569-29-0202

平成19年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年2月9日付当社「平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(連結)」にて公表いたしました平成19年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	8,600	211	93
今回修正(B)	8,157	△ 48	4
増減額(B-A)	△ 443	△ 259	△ 89
増減率(%)	△ 5.2	△ 122.7	△ 95.7
前期(通期)実績	8,922	524	45

2. 個別業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	8,487	210	92
今回修正(B)	8,058	△ 50	△ 16
増減額(B-A)	△ 429	△ 260	△ 108
増減率(%)	△ 5.1	△ 123.8	△ 117.4
前期(通期)実績	8,790	538	59

3. 業績予想修正の理由（連結・個別）

当期の売上高につきましては、主力事業である配置販売事業等において片寄った販売層を是正し幅広い顧客層の需要を掘り起こしました。しかしながら、その効果は期末に至って現れてはきましたが、通期では予想以上の低迷となりました。その結果連結売上高で81億57百万円（5.2%減）、個別売上高で80億58百万円（5.1%減）となる見込みであります。経常利益につきましては、下半期に営業所の統廃合により5営業所を廃止するなど一層の販売費及び一般管理費の削減に取り組みましたが、上半期における7営業所の出店や中途採用増による人件費増加が影響し、連結経常損失48百万円（122.7%減）、個別経常損失50百万円（123.8%減）となる見込みであります。この創業以来初めての赤字に対し、手許有価証券を売却し、売却益3億11百万円を特別利益に計上しました。しかしながら繰延税金資産の回収可能性の見直しにより、法人税等調整額が約1億10百万円計上されることにより当期利益におきましては連結当期純利益4百万円（95.7%減）、個別当期純損失16百万円（117.4%減）となる見込みであります。

（注） 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上